しながわ観光プラン【実施計画】

２０２６（令和８）年３月

プロジェクト①：船着場の観光利用活性化に向けた課題の整理

【主なロジックモデル該当部分】

A-1：	B-1：	C-1：
区民が水辺の魅力を楽しめる機会がある	しながわ観光の魅力をつくりやすい環境がある	区民が他地区の関係者と連携できる体制が整っている

背景・目的	➢ 運河や河川を活用した観光舟運は、しながわ観光を特徴づける重要なコンテンツである。 ➢ 舟運の取組は拡大しつつあるものの、観光目的での船着場の利用は十分でなく、隣接区市との連携や船着場の利用上の制約など多くの課題を抱えている。 ➢ 船着場の観光利用に関する現状や課題を整理することで、各船着場の利用条件が明確となり、舟運活性化の将来展開に向けた基盤を構築する。
取組内容	➢ 船着場（区内・区外周辺地区）の位置、設置主体、利用ルール（利用可能時間帯・利用区分・使用料等）、付帯施設（待合室・トイレ・日除け等）、利用状況等の現況調査 ➢ 船着場の利用に係る許認可手続きの整理 ➢ 舟運事業者へのヒアリングによる課題の把握
今後の展開	➢ 舟運を活かした新たな観光ツアー、観光コンテンツの開発 ➢ 動力船のみならず、非動力船（カヌー・SUP等）や水上アクティビティ（アクアボール等）による日常的な水辺利用の促進 ➢ 関係自治体・団体・事業者とのさらなる連携強化
取組期間	➢ 2026(令和8)年度
推進体制	➢ 行政、観光協会、DMO、舟運事業者、水辺関係団体の他、参画希望団体を募集し、プロジェクトチームを編成する。

プロジェクト②：観光まちづくりにおける江戸の文化財等の活用促進事業の実施

【主なロジックモデル該当部分】

A-2：	B-2：	C-2：	D-1：
区民が歴史文化の魅力を知る機会がある	しながわ観光を支える人材・組織体制が整っている	区民と観光客が交流する機会がある	区民がしながわ観光の魅力を発信している

背景・目的	➢ 区内には品川宿や御台場など江戸期の貴重な歴史・文化資源が残されている一方で、地域住民や来訪者が江戸の歴史・文化に触れる機会は限られており、文化財の保存・継承と観光活用を両立する取組が求められている。 ➢ 江戸の歴史・文化を活かした体験機会の創出と発信を通じて、地域住民の愛着醸成および来訪者の満足度向上を図り、地域主体による持続可能な観光まちづくりの仕組みを構築する。
取組内容	➢ 東京都・東京観光財団「観光まちづくりにおける江戸の文化財等の活用促進事業」を活用 ➢ 江戸の文化財を活用した体験プログラム・ツアーの企画・実施（歴史・食文化・サステナブル等のテーマ設定） ➢ 江戸の歴史・文化を伝える観光ガイドの育成 ➢ 地域住民・来訪者を対象としたイベント・セミナーの実施 ➢ 広報・PRおよび効果測定の実施
今後の展開	➢ 江戸の歴史・文化に対する理解・認知の向上 ➢ 地域の魅力向上による来訪者の増加 ➢ 観光人材の育成と事業の継続的な実施
取組期間	➢ 2026(令和8)年度～2028(令和10)年度
推進体制	➢ 行政、観光協会、DMO、品川宿・歴史関係団体の他、参画希望団体を募集し、プロジェクトチームを編成する。

しながわ観光プラン【実施計画】

2026(令和8)年3月

編集：品川区観光振興協議会

発行：品川区　文化観光スポーツ振興部　文化観光戦略課
〒140-8715　東京都品川区広町二丁目1番36号
電話番号　03-5742-6913

© 2026 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. L655975